

第25回北海道こども木工作品コンクールの開催について

企業支援部 普及連携グループ 井村 六花

林産試験場，（一社）北海道林産技術普及協会及び北海道木材青壮年団体連合会との共催で開催している「北海道こども木工作品コンクール」は，木工工作個人の部（造形的作品部門），同（実用的作品部門），木工工作団体の部，レリーフ作品の部の4部門について，毎年，北海道教育委員会の協力のもと，全道の小中学校に作品を募集しています。

25回目となる今年のコンクールには，旭川近郊をはじめ宗谷や根室，十勝，釧路など道内各地の小中学校22校から合計326作品の応募がありました。

昨年の20校322作品から学校数，作品数とも僅かですが増加しており，初めて応募していただいた学校も7校ありました。

9月14日に有識者による審査会が行われるとともに，9月15日から10月1日まで，林産試験場の構内にある木と暮らしの情報館でコンクール展を開催しました。

作品は，部門ごとに審査が行われ，それぞれ最優秀賞（知事賞），優秀賞，特別賞が選ばれました。

■木工工作個人の部（造形的作品部門）

最優秀賞は，幌延町立問寒別中学校1年の遠藤芽衣さんの「理想の家」（写真1）です。審査員からは，



写真1 理想の家

「細部の作り込みがすごい」，「いろいろな素材を上手に使っている」と評価されました。

優秀賞1点目は，旭川市立神居東小学校4年の多田匠冴さんの「森のカタツムリ」（写真2）で，「素材の形を上手に使っている」，「少年らしいのびのびとした造形が良い」と評価されました。

優秀賞2点目は，旭川市立神楽小学校3年及川静香さんの「マツボックリのあるひみつきち」（写真3）です。「穴の空いた木をうまく利用して，いかにも秘密基地の雰囲気がある」と評価されました。

特別賞は6点で次のとおりです。

- ・中標津町立丸山小学校1年河西琉心さんの「ことりのおうち」



写真2 森のカタツムリ



写真3 マツボックリのあるひみつきち

- ・中標津町立中標津東小学校3年前田一喜さんの「クワガタ」
- ・旭川市立神楽小学校3年佐藤巧武さんの「森の中で楽しくおどっている人」
- ・旭川市立神楽小学校3年須藤龍生さんの「空とぶかぶと虫」
- ・旭川市立神楽小学校3年森本花凜さんの「まほうのさくに入ったキリン」
- ・旭川市立神楽小学校3年有川紗由さんの「きりんの親子ときりんにのる親子」



写真4 便利な木箱

■木工工作個人の部（実用的作品部門）

最優秀賞は、中標津町立中標津東小学校6年澤田蒼汰さんが製作した「便利な木箱」です（写真4）。

審査員からは、「蓋にも穴が空いていて軽く、湿度が溜まらないように考えられている」、「焼き色を入れることによって風合いもよく仕上がっている」と評価されました。

優秀賞1点目は、中標津町立中標津小学校6年西田莉那さんの「本棚&引き出し」（写真5）で、「サンドペーパーがけやニス塗りもきちんとしていて、とても丁寧につくられている」、「引き出しがスムーズに開き、実用的である」ことが評価されました。

優秀賞2点目は、中標津町立中標津小学校5年岩丸翔太さんの「ばあちゃんの花のかだん」（写真6）で、「がたつきも無くしっかり作られており、中板を差し込める実用的な作りになっている」、「昔の家に本当にあったようなしっくりくる色」と評価されました。

特別賞は6点で次のとおりです。

- ・中標津町立中標津東小学校3年佐々木溪太さんの「本だな」
- ・中標津町立中標津東小学校3年佐々木優人さんの「本だな」
- ・中標津町立中標津東小学校5年白石呂偉さんの「表札」
- ・中標津町立中標津東小学校6年坂潮音さんの「木のタオル掛け」
- ・中標津町立中標津小学校4年佐野智悠さんの「ミニテーブル」
- ・中標津町立中標津小学校4年川崎悠音さんの「木のゴミ箱」



写真5 本棚&引き出し



写真6 ばあちゃんの花のかだん

■木工工作団体の部

最優秀賞は、当麻町立当麻中学校の美術部が製作



写真7 集う区～草原のステージ～

した「集う区～草原のステージ～」(写真7)が選ばれました。審査員からは「1匹1匹の作りが微妙に違い、1年生から3年生まで力を合わせて作ったことが伝わってくる」、「部品の切り出しや着色方法に高い技術力が感じられる」と評価されました。

優秀賞1点目は、滝上町立濁川小学校の全校児童から成る☆濁小kids☆が制作した「濁川の浜辺でくじらと遊ぼう！」(写真8)です。審査員からは、「人形たちに色々な表情があり、色々なことをしている」、「とても楽しい世界になっている」、「自



写真8 濁川の浜辺でくじらと遊ぼう！



写真9 エゾシカ

然そのままの材料を組み合わせボリュームのある世界を作り上げている」と評価されました。

優秀賞2点目は厚岸町立真龍中学校の放課後美術活動チームで制作した「エゾシカ」(写真9)です。審査員からは、「つなぎ合わせで形をつくる面白さを感じさせる」、「造形のバランスが良い」と評価されました。

■レリーフ作品の部

最優秀賞は、当麻町立当麻中学校3年林港人さんの「海の使者」(写真10)です。審査員からは「ウミガメの甲羅や皮膚の模様をうまく表現している」、「彫りの多様さ、構図に技術の高さを感じる」と評価されました。



写真10 海の使者



写真11 イルカのダンス



写真12 ホオジロ

優秀賞1点目は、士別市立士別南中学校3年津田磨那弥さんの「イルカのダンス」(写真11)で、「構図によって奥行きがうまく表現されている」、「イルカが魚を捕っているのを海の底から見上げているような感じがうまく表現されている」と評価されました。

優秀賞2点目は、当麻町立当麻中学校3年坂本夢さんの「ホオジロ」(写真12)で、「彫りの深さやカーブによって、うまく線を出している」、「色のついた層を使って鳥の羽毛をよく表現している」と評価されました。

特別賞は2点で次のとおりです。

- ・枝幸町立枝幸中学校2年渡辺凧砂さんの「花」
- ・当麻町立当麻中学校2年伊達結香さんの「紫陽花」

以上、今年の「北海道子ども木工作コンクール」の選考結果を紹介しました。

特別賞の写真は次のURLからご覧いただけます。

<http://www.hro.or.jp/list/forest/research/fpri/event/grand/mokko/h29kekka.htm>

■おわりに

本コンクールは、子どもたちに木材に触れてもらう機会を設けることによって、木材に親しみ、森林への興味を持ち、人と木や森との関わりを考えられる豊かな心を育むことを目的に開催して参りました。

これまでに一定の成果を上げたものと考え、「北海道子ども木工作コンクール」については、第25回を区切りとして終了いたします。

なお、本コンクールは、「全国児童・生徒木工作コンクール」の北海道予選会を兼ねておりますが、全国コンクールへの出品については、今後、北海道木材青壮年団体連合会において対応の予定です。

長年にわたって、力作をお寄せくださった児童・生徒さん、ご指導くださった校長先生、担当教諭諸氏、ご協力くださった関係機関各位におかれましては、これまでのご協力に心からお礼申し上げます。